

TOWAKO メディカルコスメティック 株式会社

〔業種〕 化粧品製造業

事業
計画名

顧客ニーズに応えた
化粧箱封印仕様の自動化による効率化

- ◆代表者名 代表取締役社長 高橋 慎弥
- ◆設立年月日 平成23年9月9日
- ◆所在地 〒923-1211 石川県能美市旭台2丁目5番地1
- ◆TEL 0761-52-7777
- ◆FAX 0761-51-6166
- ◆URL <https://www.towako-cosme.net>
- ◆E-mail TMC-info@towako-cosme.net
- ◆従業員数 8名
- ◆資本金額 20,000千円



基礎化粧品 ラヴィージョ

事業に取り組んだ経緯・背景

商品製造作業の流れの中で化粧箱封印作業があります。この化粧箱封印がより高級感を持たせるために、シュリンクフィルムを使用しての密封封印による商品包装オーダーへと顧客ニーズが変更してきました。

このシュリンクフィルムを使用した化粧箱封印工程が、従来からの簡易シール封印作業（図1）に比べて相当の稼働を要し、手作業で化粧箱に化粧品を入れた後に、化粧箱全体に熱収縮フィルムを一箱ごとに被せ、全体を熱風で収縮（少なけれ

ばドライヤーでも可能）させる作業工程となり、かなり煩雑な作業となってきました。その為にこの作業工程を改善することで作業効率の向上を図る必要が生じて来ました。

事業内容

これまでの化粧箱シュリンクによる封印作業は、弊社で使用している簡易型半自動シュリンク機での化粧箱に合わせた寸法の袋型フィルムを一個ずつ化粧箱に手作業で覆い被せて（図2）、手動や半自動機でフィルムを収縮させての工程作業をして

おりましたが、本事業で導入した静電シール包装装置（シュリンク包装機）「写真1」により、化粧箱一個ごとのシュリンク袋被せ作業工程が不要となり、化粧箱をそのまま機械装置に流し入れるだけで、化粧箱にシュリンクフィルムが装着された商品として機械装置から排出され、これにより生産性の向上と品質安定化の両面を実現することが可能となりました。

事業の成果

今までの化粧箱セット・シュリンク作業は半自動シュリンク作業によるもので、化粧箱フィルム封印は、1日2人/約800個の生産が限界でした。しかし、本事業で導入した静電シール包装装置により、化粧品箱を5秒～10秒間隔で本装置に流し入れることにより、装置端末からシュリンクフィルム加工された化粧箱として出来上がって排出されてきます。1時間で約500個～600個と生産性および品質が特段と向上してきました。

これにより一連の製造工程での大幅な効率化で、受注商品の納期短縮および今後の新規商品の受注獲得にも大きく寄与できるようになってきました。

このように本事業によるシュリンク工程の改善は、受注増に対処できるだけでなく、新たな事業にチャレンジする（海外向け販売戦略・新商品開発の事業展開等）ためにも必要不可欠であると考えております。

事業の現在の状況

弊社顧客である販売会社では国内販売は基より最近東南アジア向けの海外事業展開を強めてきており、今まで以上に数多くのOEM商品を弊社が製造販売元としてパッケージに印字記載されて市場に供給されていることから、製造販売メーカーとして認知度も高まって新規のお客様から新商品製造についての問合せも増加して来るものと思われます。

このように、本事業でのシュリンク機械導入による生産性向上の効果は、現在の業務改善面だけでなく、新たな挑戦をするうえで将来的な投資として必要であり、先を見据えた経営計画のもと実現して行く予定です。



当社外観

【得意分野】

化粧品原料製造および化粧品製造

【主要取引先】

ミヤコ化学株式会社・株式会社ファンケル・株式会社A & C BEAUTE

【商品】

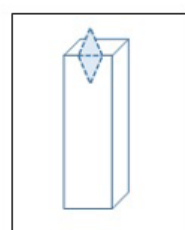
ワイン酵母抽出液・OEM化粧品各種・自社化粧品「ラヴィージョ シリーズ」

【代表者からの一言】

一貫して抽出の技術に研鑽を重ね続け、自然界の恵みが持つ機能性成分にこだわり続けてきました。地球環境を大切に守りながら、化粧品「原料化」～「製品化」を行い世の中の豊かな生活環境に貢献していきます。

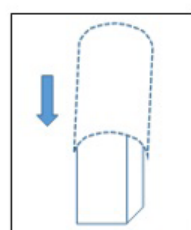


代表取締役社長 高橋 慎弥



(1) シール貼付け封印作業

図1



(2) 熱収縮フィルムを被せドライヤー等で圧着

図2



「写真1」 静電シール包装装置（シュリンク包装機）